



## シリーズ 言語文化教育研究

「言語教育とアイデンティティ形成—日本語・国語・外国語の連携と再編」

2010年 第4回

12月10日(金) 17:00~19:00

早稲田大学 早稲田キャンパス22号館 8階会議室

話題提供者： 小沢 一仁 氏 (東京工芸大学・心理学)

タイトル：大学の教養教育において文章を書くことによってアイデンティティに迫れるか？

大学における教養教育の心理学の授業で、学生自身が自分自身を理解するという自己理解をめざして毎回の授業の後半で400字程度の文章を書くという教育実践を行っている。学生自身が自己理解をめざして文章を書いていく中で、自らのアイデンティティに迫っていくことができるかどうかを本発表で追求していく。

発表内容は、以下の通りである。第一に、この教育実践の概要を示す。第二に、学生自身が自己理解が深まったかどうかについて回答した自由記述を提示する。そこで、学生自身の記述をモデルとして提示する。第三に、特にアイデンティティをテーマに講義の内容と学生自身の記述がアイデンティティに迫っているかどうかを検討する。



理解が  
コース  
のアイ

主催 言語文化教育研究会

代表・細川英雄 (早稲田大学大学院日本語教育研究科) <http://www.gbki.org/>

多くのみなさまのご参加を心よりお待ちしております。

来聴歓迎、参加無料、事前登録なし

